

(3)教育・子育て 平成30年3月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
中学生を対象にした塾代助成事業について	他市では既にある事業ですが、枚方市でも塾代助成事業の実施の検討をお願いします。	本市においては、平成28年9月に子どもの生活実態や学習環境を把握するため、枚方市内の小学5年生及び中学2年生とその保護者を対象に「子どもの生活に関する実態調査」を行いました。その調査結果では、世帯の家計の状況が子どもの学習面に影響を与えていることが確認できました。現状では、塾代助成事業実施の予定はありませんが、今後、実態調査の結果等を踏まえながら、支援を必要とする子どもやその家庭に対する効果的な支援策の検討を進めてまいります。	2017/4/24	2017/4/28	子ども青少年政策課
乳幼児健診について	乳幼児健診は時間が長くなり、上の子どもと一緒に連れて行った際に、遊べるスペースがありません。職員の周りへの気配りも感じられませんので、改善を希望します。	健診にかかる所要時間の短縮につきましては、所内で工夫できる点について話し合いを重ねているところですが、医師の確保が難しいこともあり、今すぐの解決は難しい状況となっております。また、健診に一緒に来られたお子様が遊べるスペースにつきましては、安全面の確保が難しいため設置しておりません。尚、職員の配慮が不十分であった点につきましては、今後もスタッフ間での啓発を行ってまいります。	2017/5/19	2017/5/19	保健センター
作業療法士の小学校巡回相談について	他市では、小学校で作業療法士が巡回に来る制度がありますが、枚方市では、作業療法士が在籍している施設も少なく必要な療育ができていないと思います。早く、作業療法士による巡回相談を取り入れてほしいです。	本市では、作業療法士による巡回相談は実施しておりませんが、それに替わるものとして、「大阪府立枚方支援学校の訪問相談」において、作業療法的な視点も含めた専門的な助言により、子どもたちを支援しております。	2017/5/25	2017/5/29	児童生徒支援室
保育所一時預かりについて	仕事を探すために保育所の申込みをしましたが入所できませんでした。また、一時預かりにも空きがなく、利用できませんでした。仕事を見つけても預け先がない、働きたくても働けない人をないがしろにしないでほしい。	平成27年4月より「子ども・子育て支援制度」の施行にあわせ、保護者の就労時間によって点数を細分化するなど点数制度の見直しを行いました。これまでは、就労先が決定していないと保育所等をご利用いただけませんでしたが、求職活動中でも保育所等をご利用していただけるよう要件を緩和しました。しかし、施設により、定員・待機人数等が様々であるため、すべての方が希望どおりに保育所等をご利用いただける状況ではありません。現在、通年での待機児童の解消に向け、平成31年度当初までに更なる入所枠の拡大を目指し、取り組みを進めているところです。保育所の入所枠拡大を進めることで、一時預かりがご利用しやすくなればと考えております。	2017/7/4	2017/7/24	子育て事業課
保育所(園)等利用調整基準について	保育所入所基準の減点項目の一つに「65歳未満の祖父母と同居している場合」とあります。同居はしていないが、祖父母のサポートを受けることができる家庭とできない家庭の申込み条件が同じである点について改善はできないでしょうか。	保育所等の利用調整基準では、「65歳未満の祖父母と同居している場合」を減点項目としております。祖父母から保育を受けられるかどうかは、世帯によって様々であり、一概に優先順位をつけることが難しい状況です。そのため、児童と生活面で密接なつながりが想定される「同居」についてのみ減点対象としています。ただし、同居の場合でも、祖父母が就労等で保育できない事由がある場合は減点項目から除いています。今後、利用調整基準の見直しを行う際には、基礎点および調整点をあわせた全体的な均衡を図りながら、いただいたご意見も参考に検討させていただきます。	2017/7/25	2017/8/9	保育幼稚園課
保育園入所について	育児休業後に保育所(園)の入所ができるように、申請書類を提出していますが、育児休業を切り上げて、入所を早めることはできないでしょうか。	保育所(園)等のご利用は、就労等の理由により「父・母のいずれもが家庭での保育が困難である」ことが条件となります。育児休業中につきましては、この条件に該当しないことから、原則として保育所(園)等の利用対象とはなりません。そのため、育児休業取得期間内での保育所(園)等の利用調整(選考)を原則行っておりません。保護者様の状況により、個別のご相談をさせていただきます。	2017/9/8	2017/9/29	保育幼稚園課
小学校の運動会での昼食について	小学校の運動会での昼食は、ひとり親家庭である私達にとって、毎年つらい時間です。他市のように、親子別々に昼食をとるように配慮できないでしょうか。	枚方市では、保護者等と一緒に昼食を食べる機会も大切であると考え、運動会の日には小学校全校で、この取り組みを行っております。実施にあたりましては、保護者等のご意見やお子様の意向に合わせて、先生と一緒に昼食を食べる等、柔軟な対応により、この取り組みを行ってまいります。	2017/9/19	2017/10/18	教育指導課
保護者が障害者である場合の保育所(園)の入所等について	保護者が障害者である場合は、子育てが難しく、生活も辛いです。障害手帳があれば、保育所(園)に入所しやすくするなど、考えてください。一時保育も、就労で入所している人と同じような利用料金にして、もっと利用しやすくしてほしいです。	保育所等の入所利用につきましては、就労や疾病等、保育を必要とされるご家庭の様々な状況を可能な限り考慮し、全体的な均衡を図りながら利用調整しております。また、一時預かり保育につきましては、同程度の利用回数であれば、保護者の入院・傷病等で利用する場合と、就労による定期利用の場合とは、利用料金に大きな差がないよう設定しています。今後も、引き続き丁寧な相談や情報提供を行うとともに、スムーズな利用を図れるよう努めてまいります。	2017/9/27	2017/10/16	保育幼稚園課 子育て事業課
留守家庭児童会室の利用について	高学年の場合は、夏休み等の長期休業期間のみの留守家庭児童会室を利用できるようにしてほしいです。	平成29年4月以降、平成28年度に比べ、非常に多くの児童の入室があり、児童を保育する場所を拡充し、職員の確保に尽力・対応しているところであります。このような状況の中、まずは入室希望児童が急増する現状での児童会室の運営を確立していきたいと考えております。児童会室の三季休業時(夏休み・冬休み・春休み)の閉室の必要性については認識しておりますが、すぐにはお応えできない状況にあり、ご意見として承らせていただきます。	2017/10/4	2017/10/4	放課後子ども課

第2子の保育料について	子ども2人以上の家庭では、第1子が保育所(園)を卒園していても第2子の保育料の軽減をしてほしいです。	保育所(園)利用者負担額(保育料)の算出については、国制度に基づき多子計算を行っています。国の基準では、一定の年齢制限・所得制限があり、この基準を緩和するためには多額の費用を要することから、財源確保を図りながら進めることが必要と考えております。多子計算の考え方の変更などは、待機児童の解消等、様々な施策に必要な財源確保や、国制度および他市の施策の状況も踏まえながら検討してまいります。	2017/10/4	2017/10/18	保育幼稚園課
中学校給食について	中学校の完全給食を早期に実現してください。また、給食を食べる場合は、別室で食べることに利用しにくいと聞きました。	全員喫食の実施については、財政面など、様々な課題整理を進めているところです。昼食の喫食場所については、給食当番を決めて配膳室に給食を取りに行き、給食が揃うのを待ち、教室で食べ始めます。別室で食べるといったことはなく、給食を食べる生徒と家庭からのお弁当を食べる生徒と一緒に昼食時間を過ごします。	2017/10/4	2017/10/6	学校給食課
児童相談所について	中核市ですので、児童相談所を設置していただきたいです。	中核市となり、児童相談所の設置が可能とはなりましたが、設置にあたっては、児童相談所の整備・運営に加えて、専門人材の確保・育成など様々な課題があり、設置市として業務を行っていく上での整備が必要となります。現在、児童相談所の設置について検討しております。	2017/10/10	2017/10/20	子ども総合相談センター
給食の食べ残しが減る方法について	食べ残しゼロカレンダーを作ると、給食の食べ残しが減るのではないのでしょうか。	学校により様々な取り組みを行っており、からっぽ週間(食べ残しがないクラスにシールを渡し、シールが多いクラスを表彰)を設定したり、学校給食指導委員会(全小学校の栄養教職員および給食担当教諭等がメンバー)にて、食べ残しを少なくする工夫を話し合い、各学校の取り組みを発表する場を設けております。ご提案いただきました「食べ残しゼロカレンダー」については、学校給食指導委員会等で取り組み一例として紹介したいと考えております。	2017/10/16	2017/10/19	学校給食課
総合体育館のプレイルームについて	総合体育館内にあるプレイルームについて、施設利用者でなくても利用できるようにしてほしいです。	プレイルームは、総合体育館利用者の附帯設備となっておりますが、各種イベントや事業実施時の保育ルームとしても活用しています。そのため、施設利用者であってもご使用いただけない場合もございますので、プレイルームの利用枠を増やすことはできません。	2017/10/23	2017/10/24	スポーツ振興課
インフルエンザ予防接種助成について	小児のインフルエンザ予防接種の助成をする予定はないのでしょうか。他市では助成があり、うらやましく思います。	予防接種法に規定されている定期予防接種は無料となっておりますが、小児のインフルエンザ予防接種は任意接種のため、料金を負担いただいております。現在、小児のインフルエンザ予防接種への助成については開始する予定はありませんが、今後慎重に検討してまいります。	2017/10/31	2017/11/1	保健センター
学童保育の利用について	学童保育の利用は平日のみとなっているが、土曜日にも仕事があり、現在有料で保育をお願いしています。費用負担も大きいので、学童保育を土曜日にも開室してほしいです。	児童会室の土曜日の開室については、以前よりご要望をいただくことがあり、その必要性は強く認識しております。しかしながら、平成29年度4月以降、平成28年度に比べて非常に多くの児童が入室されているため、児童を保育する場所を拡充し職員の確保に尽力、対応しているところです。このような状況の中、まずは入室希望児童が増える児童会室の運営を確立した後に、土曜日の開室についての検討を進めていきたいと考えております。	2017/11/13	2017/11/13	放課後子ども課
通級指導教室と支援学級について	週に1回、小学校の通級指導教室へ行っていますが、4月から支援学級に入れば、通級指導教室には入れないことになっています。両方行けるように、制度を変えていただきたいです。	支援学級は、よりきめ細かく指導・支援していく学級であり、言語面の指導についても支援学級において対応が可能です。当該の小学校内には、通級指導教室(ことば等、比較的軽度の課題がある子どものために特別な指導や訓練をする教室)が設置されており、支援学級担任と通級指導教室の教員が連携することで、より充実した言語面の指導を支援学級で行うことが可能であるため、在籍されている小学校で具体的にご相談ください。	2017/11/22	2017/11/22	児童生徒支援室
小・中学校トイレの洋式化について	一般家庭に比べ、小・中学校トイレの洋式化が遅れています。子どもの日常生活に大きな影響が出ていると思われるので、早急に洋式化してください。	平成29年度については、小学校と中学校を合わせて12校の改修工事を行っており、平成28年3月末時点におけるトイレの洋式化率は27.1パーセントです。学校トイレの環境を改善し、児童・生徒が安心して学校生活を送れるように、要望の多い「洋式トイレ」の設置や、車椅子利用者など、どなたでも使用していただける「多目的トイレ」の設置、更に「省エネやコスト対策」のほか、災害時を想定した改修整備を順次行ってまいります。	2017/11/30	2017/12/19	教育環境整備室
留守家庭児童会室の利用について	留守家庭児童会室の入室の条件の中に、「保護者の就労時間が14時30分を超えること」という制限が必要なのではないでしょうか。制度を見直していただきたいです。	留守家庭児童会室は、保護者の就労や病気等で保育を必要とする児童に、放課後に適切な遊び及び生活の場を提供し、健全な育成を図ることを目的としています。小学校低学年(1学年と2学年)については、授業がおおよそ5時間目までであり、5時間目終了時以降を低学年の放課後と捉え、就労時間を「14時30分を超えること」としてしております。入室対象者の拡充については、施設や人員確保などの課題があることから、今後、児童や保護者のニーズ把握を行うとともに、地域における民間サービスの活用など、放課後児童対策の具体化に向けて調査・検討を行ってまいります。	2017/12/27	2018/1/17	放課後子ども課

保育所(園)の入所にかかる点数の見える化について	保育所(園)等入所について、個人番号を活用し、自分の点数や順番だけではなく、全体の待機状況が確認できるようなシステムがあれば便利だと思います。	保育所(園)入所の待機順番につきましては、お問い合わせがあれば窓口や電話で、最新の状況をお伝えしています。 入所利用調整(選考)にかかる点数や順番は、世帯状況や利用要件の変更、申込園の変更等により、日々、大きく変動しているため、現在は、今後変動が見込まれる情報も踏まえてお伝えしていますが、機械的なシステムによる情報提供を行うと、誤解を与えてしまう可能性が懸念されます。そうしたことから、電話や窓口で直接やりとりをさせていただくことで、様々な状況等を把握し、必要な手続きをご案内するなど、よりきめ細やかな対応が可能になると考えています。	2018/1/24	2018/2/15	保育幼稚園課
子どもたちへの食事提供について	施設スペースの確保等はできませんが、子どもたちにテイクアウトでおいしい食べ物を提供したいと考えています。子ども食堂として市から支援していただけないでしょうか。	現在、「子どもの居場所づくり推進事業」として、補助金の交付等により実施団体を支援し「子ども食堂」の取り組みを進めています。 本事業は、家庭的に様々な課題のある子どもたちのために、食事や団らんの場の提供などを通じて、子どもが安心して過ごせる地域の居場所づくりを進めることを目的としており、「テイクアウト」については、事業の対象とすることができません。今後も、引き続き子どもたちにとって、より効果的な支援のあり方を検討してまいります。	2018/1/31	2018/2/14	子ども青少年政策課
障害児の発達支援について	すぎの木園に入所を希望しましたが満員で入れませんでした。保育所も入所申し込みましたが入所の見込みがありません。療育園等の枠をもっと増やして、子育ての支援をしてほしいです。	すぎの木園は、毎年、定員を上回る入園希望があり、待機児童解消に向け、現在、知的障害児通所施設「すぎの木園」と肢体不自由児通所施設「幼児療育園」の両機能を有する「新児童発達支援センター」を平成31年4月に開設するため、整備を進めているところです。このセンターでは、知的障害児通所支援について20名の定員拡大を行うとともに、早期の療育、保護者への支援の場として、機能強化を図ってまいります。 また、すぎの木園においては、障害や配慮が必要な就学前の子どもと保護者に対し、意見交換を行う懇談会や専門家による連続講座のほか、個別の相談も随時受け付けています。	2018/2/6	2018/2/21	子育て運営課
中学校給食について	子どもたち全員が、楽しくおいしい給食を食べられるようにしてください。	中学校給食は、市立第一学校給食共同調理場において調理し、選択制のランチボックス形式により、汁物などの温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たい状態で食べていただけるよう提供しています。生徒が楽しく食べられる取り組みとしては、「フルカラー献立表の発行」、「給食・食育だよりの発行」、「リクエスト献立の実施」、「中学生が考えた給食献立の実施(献立コンテスト)」等を行いました。全員喫食の実施については、財源確保などの課題がありますが、効率的な行政運営を図る観点から、様々な手法について比較検討を行ってまいります。 今後も、食を通じて健全な心身を育み、すこやかな成長と学びを支えることを目的とし、充実した中学校給食を目指していきます。	2018/2/6	2018/3/12	学校給食課
学校給食について	地産地消など、地域ネットワークにつながる学校給食を考えてください。	小学校給食については、第2次枚方市食育推進計画の趣旨を踏まえ、児童が地域産業や食文化への関心と理解を深め、食物や生産者に対する感謝の念を育成していくため、地産地消の促進に努めています。平成28年度において、野菜類では、枚方産・府内産合わせて20品目で31.6トン(うち枚方産は15品目21.0トン)、米については、大阪産「ヒノヒカリ」を164.7トン、大阪産れんげ栽培米を37.8トン使用しました。 平成29年度以降も、引き続き、枚方産・府内産農産物活用の促進に努めてまいります。	2018/2/6	2018/3/12	学校給食課
教科書の展示について	教育文化センターで行っている教科書の展示をそれぞれの地域の図書館でも行ってください。	学校で使用することが決定される前の教科書については、文部科学省の通知及び大阪府教科書センター設置要項に基づき、「教科書センター」で展示することとなっております。本市の「教科書センター」は、市立教育文化センター内に設置していることから、地域の図書館での展示は困難ですので、ご理解いただきますようお願いいたします。 なお、現在使用している教科書については、中央図書館で閲覧及び貸し出しをすることが可能となっております。	2018/2/6	2018/3/12	教育指導課
正規教職員の増員について	子どもたちが充実した授業を受けられるように、正規教職員を増やしてください。	教育指導の充実に向け、教職員定数の増員については、国や府に要望しているところです。	2018/2/6	2018/3/12	教職員課
小学校のクラス定員について	すべての小学校で全クラス30人以下学級を実現してください。	実施学年の拡大については、平成29年度も、国・府に対して要望しております。 また、本市独自の少人数学級編制については、国・府の動向を注視しながら効果検証を進めております。平成30年度からは、新たに第5・6学年を対象とした、1学級40人以下とする市独自の学級編制を実施いたします。	2018/2/6	2018/3/12	教職員課
中学校チャレンジテストについて	チャレンジテストは、子どもたちを追い詰めているように思うので、やめてほしいです。	チャレンジテストは、学力の向上を図り、大阪府公立高等学校入学者選抜における公平性を担保することを目的に、大阪府教育庁が行っている取り組みです。 本市教育委員会では、その目的の趣旨を踏まえ、チャレンジテストに参加することにより、問題の傾向や成果などを今後の教育政策や教育指導に反映させることで、生徒の学力向上を図ってまいります。	2018/2/6	2018/3/12	教育指導課

道徳の教科化・英語教育について	道徳の教科化、小学校3年生からの英語教育など、いろいろ問題があるのではないのでしょうか。現場の声や子どもたちの成長に配慮して、慎重に対応してください。	道徳の教科化については、文部科学省が定める新学習指導要領に基づいて児童・生徒の豊かな心を育ててまいります。 また、小学校の外国語教育(英語教育)についても、新学習指導要領に基づき実施するもので、英語専科教員の配置により指導力向上を図るとともに、英語教育指導助手を配置するなど指導体制の充実に努めてまいります。	2018/2/6	2018/3/12	教育指導課
待機児童の解消・保育士の待遇改善について	待機児童の解消、保育士の待遇改善で、子どもたちが豊かに過ごせるようにしてください。	待機児童対策については、潜在的な待機児童も含めた通年での待機児童解消に向けて、平成31年度当初までに500人の入所枠の拡大を目指し、小規模保育施設の開設など、様々な取り組みを進めていきます。 また、保育士等の待遇改善については、平成29年度から国において、より高い専門的知識や能力を身につける「キャリアアップ」による処遇改善に取り組む施設に対し、それらに要する費用を支払うことができる仕組みが示されており、これまでの処遇改善加算に係る賃金改善要件分として支払う額についても、2%上乘せされています。これらの国の動向に沿って、本市においても待遇改善を行っているところです。	2018/2/6	2018/3/12	子育て事業課
小中学校の統廃合について	地域住民の声を無視した小中学校の統廃合は、やめてください。	今後、児童生徒数が減少することにより、小規模校が一層増加すると予測されているため、子どもたちの良好な学習環境を確保し、学校運営に支障をきたすことのないよう、小規模校の解消を最優先課題と位置づけて取り組む必要があります。そのため、「枚方市学校規模等適正化基本方針」において、学校統合を基本方針として課題解消を図ることとしています。 学校統合の実施にあたっては、該当する学校の児童生徒や保護者、地域コミュニティなどへの十分な説明を行い、理解と協力をいただきながら進めてまいります。	2018/2/6	2018/3/12	教育環境整備室
支援学級等の実態について	支援学級、放課後デイサービスについて、早急に実態を調べて、子どもたちの成長につながるものにしてください。	支援学級については、当該児童・生徒の状況や保護者の意向も踏まえ教育課程を決定し、各々に応じた指導を充実させることで、児童・生徒の成長につながるものになるよう努めています。また、全小中学校に、支援教育コーディネーターと非常勤講師を配置し、通常の学級における支援についても学級担任と共有する等、学校体制として行っています。 学級編成については、小学校4年生までは支援学級在籍児童数を含んで1学級35人以下とする本市独自の少人数学級編成を実施しています。小学校5・6年生は、主体的・協同的な学習力の形成期に入るため、習熟度別指導等をはじめ指導方法の改善に努めています。 放課後等デイサービス事業については、平成24年4月、制度創設時の市内所在の事業所数は4事業所、利用するための支援給付申請により支給決定者数は209人です。平成28年度については、40事業所、支給決定者数は596人となっております。今後も、引き続き子どもたちが、安心して過ごせる居場所の確保を図ってまいります。	2018/2/6	2018/3/12	児童生徒支援室 障害福祉室
教育機会確保法の施行について	不登校対策として「教育機会確保法」が施行されていますが、この法律への取り組み状況などを広報ひらかたなどで市民に知らせてください。	不登校対策としては、法律が施行される前から取り組んでおり、学校へ登校しづらい等の児童・生徒に対しては、各校内に設置している適応指導教室等や、教育文化センターでの適応指導教室「ルポ」において、学習をする機会を設けております。これらの取り組みの周知については、教育相談を通じ児童・生徒の状況に応じて、担任等から本人や保護者へお知らせしており、適応指導教室「ルポ」の活動については、市ホームページにも掲載しております。 また、安心して学校生活を送っていただくため、学校から保護者への連絡、保護者から学校への連絡を通して、不登校等を含む教育相談を適宜、行っています。今後も、子どもたちの健全な育成を図り、引き続き、教育の充実に努めてまいります。	2018/2/28	2018/3/29	児童生徒支援室
保育園のおむつの持ち帰りについて	4月より入園する保育園では、布おむつを使用するため、おむつを持ち帰り、毎晩洗濯をしなければなりません。布おむつをやめて、働く母親の負担を減らしてください。	私立保育所(園)で使用するおむつにつきましては、各施設の判断で決定しています。布おむつを選択している施設では、大半が、トイレトレーニングがスムーズに進められるため使用しており、大抵は排泄物を捨て、簡単に水洗いした上で保護者にお持ち帰りをいただいています。 また、紙おむつを使用している施設においても、紙おむつは事業系ごみとなり処理費用が発生するため、排泄物を捨てた上でお持ち帰りいただくことが多くあります。 各施設でのおむつの取り扱い等、ご不明な点につきましては、入園説明会などで直接お問い合わせいただき、ご確認いただけますようお願いいたします。	2018/3/5	2018/3/5	子育て事業課